

令和6年度  
第3回岩見沢市地域公共交通活性化協議会 資料

< 報告事項 >

東部丘陵線に係る協議運賃専門部会の開催結果をご報告いたします

令和6年12月5日  
岩見沢市企画財政部企画室

# 報告事項（1）東部丘陵線の協議運賃について

次のとおり協議運賃専門部会を開催し、**協議が調いました**ので報告します。

## ●協議運賃専門部会

令和6年10月29日(火)

◎協議事項

・東部丘陵線の協議運賃について

## ●協議運賃の対象路線

◎東部丘陵線

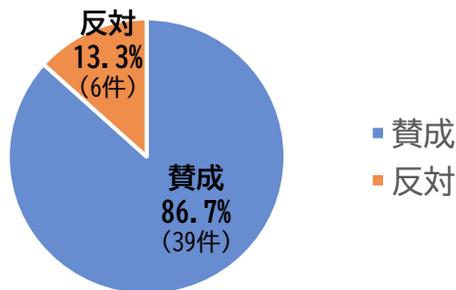
## ●北海道内の協議運賃改定状況

市町村	事業者	運賃改定		
		時期	金額	具体額
岩見沢市	北海道中央バス	R 6. 1 2	4 0 円	2 0 0 円⇒2 4 0 円
札幌市	札幌ばんけい、じょうてつバス、夕鉄バス ジェイ・アール北海道バス、北海道中央バス	R 6. 1 2	3 0 円	2 1 0 円⇒2 4 0 円 2 4 0 円⇒2 7 0 円
旭川市	道北バス、沿岸バス	R 6. 4	2 0 円～3 0 円	1 8 0 円⇒2 0 0 円 2 2 0 円⇒2 5 0 円等
小樽市	ジェイ・アール北海道バス 北海道中央バス、ニセコバス	R 2. 4	2 0 円	2 2 0 円⇒2 4 0 円

## ●運賃改定に関するアンケート

実施期間：令和6年6月20日～7月3日

回答数：52件（うち賛否の記載がないもの：7件）



## ●東部丘陵線が運行する沿線町会の意見

意見聴取期間：令和6年10月9日～10月15日

町会名	賛否	主な意見
上志文町会	可	値上げしても旧万字線より安いいため、もっと値上げしても良いのではないかと考える。
宮村町会	可	値上げはやむを得ないものとする。
朝日町内会	可	持続可能な路線を考えると値上げはしょうがないものとする。
美流渡町内会	可	学生や高齢者の負担を小さくしてほしい。
上美流渡町内会	可	多少の値上げであれば困る人はいないと思う。
毛陽・清水連合町会	可	学生の負担を小さくしてほしい。
万字町会	可	値上げは仕方ないとする。

# 報告事項（1）東部丘陵線の協議運賃について

## ●運賃改定の概要

### ■改定時期

令和6年12月

### ■改定の概要

- ・原則100円増額
- ・現行100円区間については、100円据え置き区間と200円区間に分類
- ・料金区分を5区分から6区分に変更

No	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕	㉖	㉗	㉘	㉙	㉚	㉛	㉜	㉝		
停留所名	万字バス待合所	万字寿回転所	万字交通センター	巴公団前	大平	東毛陽	毛陽交流センター	メープルロッジ前	滝の上	錦町	栗沢工芸館	美流渡桜町	美流渡交通センター	美流渡本町	美流渡西町中央	美流渡一の沢	朝日サービスセンター	宮村東	新宮村橋	宮村	城宝前	萩の山スキー場	上志文中央	高德寺	旧渡船場	ローズパークゴルフ場入口	いわみざわ公園	緑ヶ丘6丁目	教大前	陸上競技場前	市役所前	スポーツセンター前	市立病院通	4条西5丁目	岩見沢駅

現行運賃	100円				200円				300円				400円				500円			
------	------	--	--	--	------	--	--	--	------	--	--	--	------	--	--	--	------	--	--	--

改定後の運賃	100円				200円				300円				400円				500円				600円			
--------	------	--	--	--	------	--	--	--	------	--	--	--	------	--	--	--	------	--	--	--	------	--	--	--

※岩見沢駅～いわみざわ公園の区間は、岩見沢駅行きは降車のみ、万字バス待合所行きは乗車のみ



令和6年度  
第3回岩見沢市地域公共交通活性化協議会 資料

## < 協議事項 >

今回、委員の皆様にお諮りする内容です

令和6年12月5日  
岩見沢市企画財政部企画室

●募集期間及び応募作品数

募集期間	令和5年11月13日 ~ 令和6年10月31日	
応募作品数	第1期 秋・冬の風景 (受付：R5.11.13～R6. 2.20)	1名 10名
	第2期 春の風景 (受付：R6. 3.21～R6. 5.31)	2名 5点
	第3期 夏・秋の風景 (受付：R6. 9. 1～R6.10.31)	1名 1点

●作品一覧及び優秀作品（案）

◎第1期 秋・冬の風景



第1期  
作品No.1

上志文から万字方面に広がる、あたり一面の白銀の世界  
(A氏)



第1期  
作品No.2

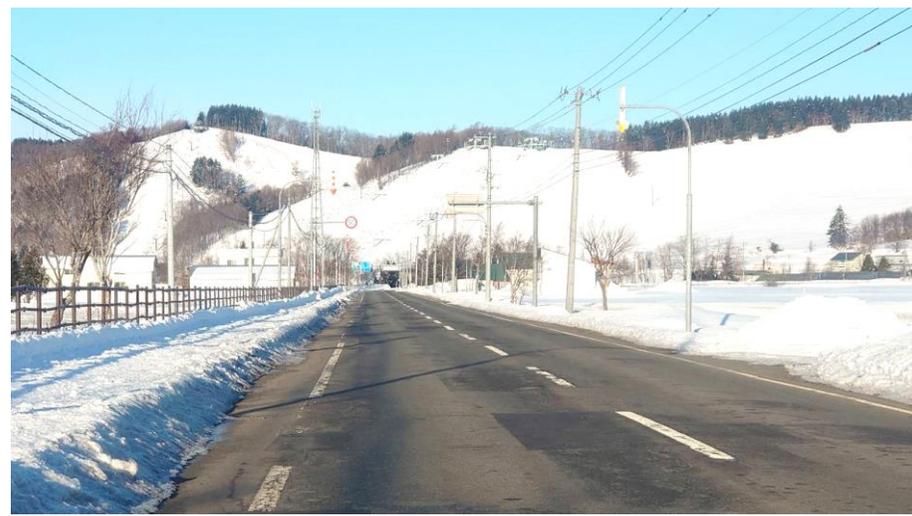
上志文から万字方面に広がる、あたり一面の白銀の世界  
(A氏)

# 協議事項 (2) 「魅力再発見! お薦め「SCENE」コンテスト~バスの車窓から~」の優秀作品選定について



第1期  
作品No.3

上志文から万字方面に広がる、あたり一面の白銀の世界 (A氏)



第1期  
作品No.4

万字方面から岩見沢方面に走ると見えてくる広大な萩の山スキー場所 (A氏)



第1期  
作品No.5

ローズパークバス停周辺の田んぼに集まる白鳥の群れが圧巻 (A氏)



第1期  
作品No.6

ローズパークバス停周辺の田んぼに集まる白鳥の群れが圧巻 (A氏)



第1期  
作品No.7

ローズパークバス停周辺の田んぼに集まる白鳥の群れが圧巻  
(A氏)

第1期優秀作品(案)



第1期  
作品No.8

ローズパークバス停周辺の田んぼに集まる白鳥の群れが圧巻  
(A氏)



第1期  
作品No.9

ローズパークバス停周辺の田んぼに集まる白鳥の群れが圧巻  
(A氏)



第1期  
作品No.10

ローズパークバス停周辺の田んぼに集まる白鳥の群れが圧巻  
(A氏)

◎第2期 春の風景



第2期  
作品No.1

美流渡神社 鳥居前の桜が大きく立派で綺麗  
(B氏)



第2期  
作品No.2

万字交通センター裏に広がる桜は見ごたえあり  
(B氏)



第2期  
作品No.3

万字峠の麓にある村落は懐かしい風景でフォトスポットにおすすめ  
(B氏)

第2期優秀作品 (案)



第2期  
作品No.4

万字峠の麓にある村落は懐かしい風景でフォトスポットにおすすめ  
(B氏)

◎第3期 夏・秋の風景



第2期  
作品No.5

「いわみざわ公園」バス停から見える風景  
整然と並んでいる木々がどこまでも続いているよう  
で良い風景だと思いました（C氏）



第3期  
作品No.1

「市営球場前」  
夕日の美しさにバス停が映えて、いい瞬間だと思いました  
（D氏）

第3期優秀作品（案）

●応募者への記念品贈呈

募集要項に基づき、応募者4名に対して地元特産品等を贈呈  
（内容は事務局にて選定）

●応募作品の取扱い

応募作品については、市が関係する各種啓発物に活用

## 1. 事業評価の目的

地域公共交通確保維持改善事業は、国土交通省が実施する、地域の多様な主体の連携・協働による、地域の暮らしや産業に不可欠な交通サービスの確保・充実に向けた取組みを支援する事業です。

協議会等が、生活交通確保維持改善計画に位置付けられた補助対象事業について、事業の実施状況の確認や目標達成状況等の評価を行うことによって、補助対象事業がより効果的及び効率的に推進されることを目的とします。

国庫補助を受けた（受ける予定の）事業については、協議会において事業の実施状況を確認・評価し、市のホームページ等で公表するとともに、国土交通省北海道運輸局へ報告することとなっています。

## 2. 当協議会における評価対象事業

### ① 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

幹線バス等の地域間交通ネットワークと接続し、支線として運行する地域内のバス交通等に対する支援。

〔 対象系統：かえで団地循環線、日の出台・栄町循環線、鉄北循環線、南町・春日循環線  
東部丘陵線 〕

【評価対象期間】 令和5年10月1日～令和6年9月30日（R6補助年度）

# 協議事項（3）地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価について

## 3. 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金の事業評価

### ■事業評価

①補助対象事業者等	②事業概要 ※補助対象となる系統	③前回（又は類似事業）の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の 適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 （特記事項を含む）
北海道中央バス(株)	かえで団地循環線 日の出交・栄町循環線 鉄北循環線 南町・春日循環線	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内の小学校に通う児童からバスに関する絵を募集し、集まった作品をバス車内に展示する「バスの絵募集キャンペーン」を実施した。 ※応募総数：197作品</li> </ul>	計画通り事業Aは適切に実施された。	市内線は、ダイヤ調整や運行便数の見直し等により、運行体制の最適化を図ることができたが、コロナ等の影響により減少した利用者は、回復していない状況にある。また、乗務員の離職が進んでおり、運行体制の維持が厳しい状況となっている。 <b>B</b> 【市内線の目標】 ※補助年度 ①利用者数 ・目標値（R6）：850,000人/年 ・実績値（R6）：530,411人/年 ②収支率 ・目標値（R6）：75.0% ・実績値（R6）：90.3%	<ul style="list-style-type: none"> <li>バス利用の回復と小学生等の将来の利用者確保を目指し、バスに興味を持ってもらい、利用したくなるような取組みを推進していく必要がある。</li> </ul>
日の出交通(株)	東部丘陵線	<ul style="list-style-type: none"> <li>バスの利用促進及び乗務員の仕事の魅力発信を目的として、市広報誌に特集記事を掲載した。</li> </ul>	計画通り事業Aは適切に実施された。	目標値には達していないものの、東部丘陵地域において、令和4年3月末に廃止されたバス路線の代替交通として、住民の生活上、必要不可欠な移動手段を確保することにより、通院・通学・買い物など多くの利用がある。 <b>B</b> 【東部丘陵線の目標】 ①利用者数 ・目標値(R6)：14,000人 ・実績値(R6)：9,786人 ②経常収支 ・目標値(R6)：▲11,800千円以内 ・実績値(R6)：▲16,897千円 ③自治体の本事業に対する負担額 ・目標値(R6)：9,400千円以内 ・実績値(R6)：12,157千円	<ul style="list-style-type: none"> <li>乗務員等の担い手確保については、周辺自治体も含めた共通課題として捉え、交通事業者や自治体間の連携を強化し、職場環境や仕事内容、乗務員の魅力等について、広く情報発信する取組みを行う必要がある。</li> </ul>

## ■地域の交通の目指す姿（事業実施の目的・必要性）

岩見沢市は、北海道の中西部に位置する空知管内の中心都市であり、人口は75,522人（令和5年12月未現在）、総面積は481.02km<sup>2</sup>で、市域の西部には平野が広がり、東部には低山性の山々が連なっている。また、札幌市と旭川市を結ぶ国道12号、高速自動車道が通っており、札幌市まで車で約45分、新千歳空港を有する千歳市まで約60分の圏域である。

他の地方都市と同じように岩見沢市においても人口減少や少子高齢化、自家用車の普及などによる路線バス利用者の減少が続いており、路線の維持確保のための市補助金の負担も増加していることから、平成27年1月に地域公共交通活性化協議会を設置し、同年4月に「岩見沢市生活交通ビジョン」、平成28年6月に「地域公共交通網形成計画」、平成29年6月には「地域公共交通再編実施計画」（同年9月8日に国土交通省の認定）を策定し、平成29年10月1日に主要な生活交通手段であるバス路線（北海道中央バス（株））の見直しを行った。令和2年度末をもって「地域公共交通網形成計画」の計画期間が満了したことに伴い、新たな公共交通のマスタープランとして令和3年6月に「地域公共交通計画」を策定した。

岩見沢市の公共交通においては、札幌や旭川と結ぶJR函館本線、苫小牧と結ぶJR室蘭線、南空知の他市町につながる地域間幹線系統を幹線として、それらと接続するフィーダー系統（市内：路線型）やデマンド型乗合タクシーなどの新たな公共交通を組み合わせることで、生活交通ネットワークの構築を進めているところである。

また、令和4年4月からは、岩見沢市の東側に位置する山間地域（通称：東部丘陵地域）において運行していた中央バス万字線及び市営バス万字線の廃止に伴い、新たな生活の足として、日の出交通（株）による「東部丘陵線コミュニティバス」の運行が開始されたところである。

市民の生活上、必要不可欠な移動手段を確保するため、地域公共交通確保維持事業により、路線バス（市内線）及び東部丘陵地域を運行する路線を確保・維持することが必要となっている。